

< 第 7 期 >

中間報告書

平成25年4月1日～平成25年9月30日



当社社有林：東岳から見た朝焼けの赤石岳

特種東海製紙株式会社

TOKUSHU TOKAI PAPER CO., LTD.

証券コード 3708



株主の皆様におかれましては、平素より当社グループに対しまして格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社第7期中間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）の報告書をお届け申し上げます。

当事業年度（平成26年3月期）は、当社グループの3カ年計画「第二次中期経営計画」の最終年度として、「深化。そして、進化。」を基本テーマに基盤強化と成長戦略を掲げた施策を実行し、計画達成に向け邁進しております。また、次期経営計画を見据え、主要拠点においては積極的な大型投資計画が進行中であり、東アジアを中心とした海外展開も推進しております。さらには新製品開発に向けた未来志向の技術テーマとして「NaSFA」を掲げ、さらなる成長に向けた取組みを進めております。

紙パルプ業界を取巻く環境は、国内市場の成熟化、原燃料の価格高騰など依然として厳しい状況が続いておりますが、当社グループは新たな先端分野の開発と販売経路の開拓・拡大を図ってまいります。また、これまで培ってきたグループ全体の知見を生かし、製紙事業の枠にとらわれない新たな事業展開を模索し、独自性・独創性の高い、ユニークで存在感のある企業集団として、社会と環境へ貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き、倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 三澤 清利

第二次中期経営計画の進捗状況について

新規設備の建設、NaSFA（新製品の開発）の推進、他社との提携、海外展開を中心に注力しました。

1. 基盤強化施策として製造力の強化を図るため、積極的な設備投資の実施および検討を行っています。

第7期の設備投資案件の進捗として、三島工場におけるコーターヘッド増設、島田工場におけるパルプ生産設備効率化、新タオルマシンの建設などに着手するとともに、新製品開発では、FIBLIC（リチウムイオン二次電池向けセパレータ）の量産化を目指して島田工場内でテストマシン建設を進めております。

島田工場のパルプ生産設備効率化では約26億円を投資し、平成27年1月の完成を目指して更新工事が進行中です。これにより生産工程を簡素化し、省エネルギー化や精選能力の強化を図ることで、品質改善およびコスト競争力の向上を目指します。

その他、島田工場での水力発電所の更新工事を決定し、さらにはバイオマスボイラー設備の新設も検討しており、さらなるエネルギーのコスト低減、自家発電率の向上と売電事業の開始を目指しております。

2. 成長戦略として NaSFA（新製品の開発）、他社との部分的提携、海外展開に注力しました。

i 「NaSFA」（新製品の開発）

当社の将来を見据えた製品開発テーマである、NaSFAの進捗についてご説明いたします。



① ナノテクノロジーから広がる新たな可能性 (Nano technology)

まずFIBLIC（リチウムイオン二次電池向けセパレータ）の進捗につきましては、現在、島田工場にてテストマシン（投資金額約10億円）の建設を進めております。また、一部で試作品を提供し、ユーザー評価を並行して実施しております。テストマシンは、平成26年4月の完成を予定しており、その後テスト生産・販売をいたします。

②偽造防止技術によるグローバル展開 (Security)

偽造防止技術では、すき入紙製造取締法の規制緩和により平成25年3月より黒透かしの製造が可能となり、当社においても特定図柄において財務省の認可を受けることができました。今後はパスポート用紙や海外紙幣等への展開、改ざん防止技術等への応用を考えております。

③技術融合による新市場の創造 (Fusion)

平成25年9月に発売したD'CRAFT (ディークラフト) を例として、当社の産業素材事業の段ボール原紙やクラフト紙での低コスト技術やラミネート等の生産技術と特殊素材事業の持つファンシーペーパーや、機能紙に関わる生産技術を融合した製品の開発に注力しております。

④新加工技術による挑戦 (Art)

平成25年12月に完了予定の三島工場におけるコーターヘッド増設により、これまでにない風合い、機能を付与した紙を開発し、お客様に新たな価値を提供することで、市場でのシェア拡大を目指しております。

ii 大王製紙(株)との業務・資本提携

第二次中期経営計画における成長戦略の一環として、他社・他産業との部分的提携を模索してきましたが、家庭紙分野での事業連携を中心として、大王製紙(株)との強みを生かした取り組みをさらに前進させるため、平成25年8月12日に発行済株式総数の3%を相互保有することを決定し、業務・資本提携をすることとなりました。

これによりさらなる家庭紙事業の拡大や他事業分野での生産の最適化などを推進することで新たなシナジー効果を獲得し、収益向上が図れるものと考えております。

今後は以下の取り組みを実施し、効果的な提携内容を模索します。

- ①大王製紙(株)子会社のトイレットペーパー加工設備を当社グループ会社の明治製紙(株)の工場へ移設することで、生産・販売体制の強化を図り、古紙トイレットペーパーの生産拡大等に繋げていきます。
- ②当社の保有するナノセルロース技術と大王製紙(株)の保有する製品開発力の融合による共同開発として、付加価値の高い吸収体を用いた新製品の開発を目指します。

- ③製品の輸送コストを考慮した段ボール原紙の地域生産に関する相互協力体制構築の可能性や、協力対象製品の追加等の関係強化を目指します。

iii 海外展開

特殊素材事業での海外展開として、台湾の特殊紙メーカーである「中日特種紙廠股份有限公司」と台湾の大手製紙メーカーである「正隆股份有限公司」と共同開発を進めております。

中日特種紙とは、当社技術開発員を派遣しコスト競争力のある高速製袋機対応ティーバッグ用紙の生産体制を構築しております。また、ユーザー情報の共有化による営業競争力強化を図ることで、薄物機能紙やファンシーペーパーの拡販を目指しております。

正隆社とは、NF(ノンフッ素)耐油紙の現地生産に取り組み、平成25年8月より販売を開始しました。さらには大型マシンおよび薄物に適した塗工機を活用して食品や工業用工程紙を共同開発するなど、当社の持つ技術と正隆社の設備を利用した大型機能紙の海外展開を図ってまいります。

次に生活商品事業として、当社グループ会社の東海加工紙(株)が香港に設立した「福蓬萊有限公司」は、平成25年10月から紙加工品の日本国内販売を開始しました。今後はさらに設備を強化し、アジア地域をはじめとした海外での販売を目指します。

第2四半期決算の概要と通期業績の見通しについて

当第2四半期の業績は、原材料のパルプや重油、電力価格が高騰した状況の中、夏場の飲料関連需要増加やガラス合紙等の販売数量増加、三島工場の新ボイラーの稼働によるエネルギーコスト削減等により、売上高38,545百万円(前年同期比1.1%増)、営業利益1,824百万円(前年同期比27.1%減)、経常利益2,013百万円(前年同期比18.6%減)、四半期純利益は1,334百万円(前年同期比191.6%増)となりました。

通期業績は、売上高74,000百万円、営業利益2,700百万円、経常利益2,900百万円、当期純利益1,400百万円を見込んでおります。

連結財務ハイライト

■ 第2四半期 ■ 通期

売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



経常利益

(単位：百万円)



四半期(当期)純利益

(単位：百万円)



総資産

(単位：百万円)



純資産

(単位：百万円)



1株当たり四半期純利益

(単位：円)



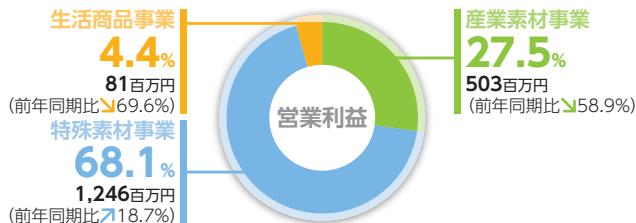
配当金の推移

(単位：円)



(注) 通期予想につきましては、今後の様々な要因により修正する可能性がありますので、ご了承ください。

セグメント別構成比率



連結財務諸表

第2四半期連結貸借対照表(要旨) (単位:百万円)

科目	当第2四半期 (平成25年9月30日現在)	前期末 (平成25年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	42,434	44,137
固定資産	78,287	76,000
有形固定資産	60,529	61,355
無形固定資産	550	662
投資その他の資産	17,206	13,983
資産合計	120,722	120,138
(負債の部)		
流動負債	35,432	39,312
固定負債	23,314	21,734
負債合計	58,746	61,046
(純資産の部)		
資本金	11,485	11,485
資本剰余金	14,474	14,449
利益剰余金	37,268	36,292
自己株式	△ 3,030	△ 4,008
その他の包括利益累計額	1,402	778
新株予約権	115	94
少数株主持分	259	—
純資産合計	61,975	59,091
負債純資産合計	120,722	120,138

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

営業活動による キャッシュ・フロー	5,733	
投資活動による キャッシュ・フロー	△5,115	現金及び 現金同等物に係る 換算差額 0
財務活動による キャッシュ・フロー	△956	現金及び 現金同等物の 減少額 △337

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第2四半期連結損益計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	当第2四半期(累計) (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)
売上高	38,545	38,136
売上原価	31,022	30,086
売上総利益	7,522	8,050
販売費及び一般管理費	5,698	5,548
営業利益	1,824	2,501
営業外収益	499	313
営業外費用	310	342
経常利益	2,013	2,472
特別利益	90	—
特別損失	47	1,100
税金等調整前四半期純利益	2,056	1,371
法人税、住民税及び事業税	727	767
法人税等調整額	△ 6	143
法人税等合計	721	911
少数株主損益調整前四半期純利益	1,334	460
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△ 0	2
四半期純利益	1,334	457

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第2四半期連結包括利益計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	当第2四半期(累計) (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,334	460
その他の包括利益	624	△ 443
四半期包括利益	1,958	17

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

●『D' CRAFT』新発売

当社の特殊紙、産業用紙の技術を融合させ、新たな価値観を与えた新製品「D' CRAFT」（ディークラフト）を平成25年9月17日に発売しました。

強靱な強度を保つD' CRAFTは、クラフト紙にファンシーペーパーのエンボス技術を駆使してデザインを付加した製品です。日本古来のふるしきの意匠から着想を得た和風調の模様と、紙本来の機能である包みやすさが特徴で、紙袋や封筒等への用途を中心に様々な用途展開を期待しております。

「キューブ」「ブロック」「フラワー」の3パターンとテキストイルシリーズである「クロス」を発売し、さらに追加発売していく予定です。



発売した4パターン



用途例

●南アルプス ユネスコエコパーク登録へ

当社社有林を含む南アルプス地域がユネスコエコパークに推薦され、平成26年6月のユネスコ理事会で登録が決定される見込みとなりました。

ユネスコエコパークとは、「自然と人間社会の共生」を目指すもので、国内では志賀高原や屋久島など5か所が既に登録されています。南アルプスのエコパークは、豊かな自然環境と伝統文化を特徴とするもので、国内最大の指定地となります。井川社有林は、そのほぼ中央に位置し、高山帯部分は特に貴重で保護すべきエリアとしてエコパークの中でも核心地域に指定されます。

当社グループの(株)東海フォレストでは、核心地域の千枚岳を目指すツアーや旅行会社と提携した新緑ツアーなどをご用意しております。登録を機に、ぜひ井川社有林の豊かな自然をお楽しみください。

(株)東海フォレスト
サービス事業部
TEL 0547-46-4717

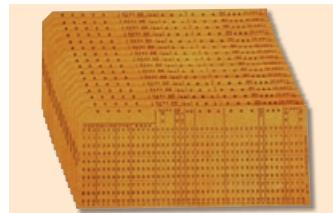


二軒小屋ロッジ新館

●重要科学技術史資料へ登録

当社製パンチカード「レミントン統計カード」（昭和13年生産開始）および「IBM統計カード」（昭和20年生産開始）が独立行政法人国立科学博物館の実施する「重要科学技術史資料（未来技術遺産）」に紙製品として初めて登録されました。

国産最初期のパンチカードとして耐久性、寸法安定性、静電気の発生低減、パンチ穴の打ち抜きに対する機械的適性などが求められた製品であり、事務簡素化に貢献するとともにコンピュータの処理能力の向上や高速化に対応したことで登録されました。



レミントン統計カード



IBM統計カード

●第23回紙わざ大賞入賞作品展開催

素材として紙の可能性を多くの方に知っていただき、紙を使う文化育成の一助となることを目的とした、第23回紙わざ大賞の審査会を平成25年11月6日、弊社Pam（静岡県駿東郡長泉町）で開催し、各賞の受賞作品が決定しました。

平成25年12月には入賞作品展を銀座十字屋ホールで開催し、平成26年1月には富士山紙フェアでの出展を予定しています。

- ・[第23回紙わざ入賞作品展]
会場 銀座十字屋ホール（東京都中央区銀座3-5-4）
期間 平成25年12月12日（木）～15日（日）

- ・[第1回富士山紙フェア]
会場 ふじさんめっせ（静岡県富士市柳島189-8）
期間 平成26年1月11日（土）・12日（日）



大賞（海にとける月）



審査会の様子

第7期中間配当金について

当社は、平成25年11月12日開催の取締役会において、第7期中間配当金として1株当たり2円50銭をお支払いすることを決議し、平成25年12月9日より配当金のお支払いを開始させていただきます。

なお、弊社ホームページでも配当に関するご説明とFAQを掲載しておりますので、ご案内申し上げます。

ホームページアドレス <http://www.tt-paper.co.jp/>

株式の種類	普通株式
配当金の総額	371百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	2円50銭
基準日	平成25年9月30日
効力発生日	平成25年12月9日

役員 (平成25年9月30日現在)

代表取締役社長	三澤 清利
専務取締役	三宅 博
専務取締役	梅原 淳
常務取締役	紅林 昌巳
取締役	関根 常夫
取締役	大島 一宏
取締役	落合 一彦
取締役	松田 裕司
取締役 (社外取締役)	石川 達紘
常任監査役 (常勤監査役)	三谷 充弘
監査役 (社外監査役)	大倉 喜彦
監査役 (社外監査役)	志賀 こず江

会社概要 (平成25年9月30日現在)

商号	特種東海製紙株式会社
英文名	Tokushu Tokai Paper Co., Ltd.
事業内容	紙パルプの製造・加工・販売および子会社の経営管理等
資本金	1,148,520万円
事業年度	4月1日から翌年の3月31日
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (コード: 3708)
設立年月日	平成19年4月2日
本店	静岡県島田市向島町4379番地
本社	東京都中央区八重洲2丁目4番地1号
事業所	三島工場、島田工場、横井工場、 岐阜工場、静岡オフィス、中部営業所、 静岡営業所、大阪営業所

グループ企業 (平成25年9月30日現在)

会社名	主な事業
株式会社リソース東海	製紙原料の仕入・販売、製材品の仕入・販売
株式会社東海フォレスト	土木、造園緑化、山林事業、観光事業、保険代理業
株式会社レックス	一般廃棄物・産業廃棄物の収集、運搬、加工処理および売買
株式会社テクノサポート	構内作業業務、設備保全業務、重油・産廃運搬業務
静岡ロジスティクス株式会社	運送業、倉庫業、リース業、酒類販売
特種紙商事株式会社	特殊機能紙・保護紙・画材用紙・エレクトロニクス関連用紙・加工品等の販売
特種メーテル株式会社	特殊紙製造、医療用機能性シート、緩衝・保護包装紙の製造・販売
東海加工紙株式会社	ペーパータオルなど各種業務用品の製造・販売、各種産業用資材の加工、販売
明治製紙株式会社	家庭紙(トイレットペーパー)の製造・販売

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711
(通話料無料、平日9:00~17:00)
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

（上記は、特別口座に記録された株式に関する各種手続き先ならびに郵送物等の発送と返戻、支払期間経過後の配当金および株式事務に関する一般事項のご照会先となっております。ご登録住所等の変更手続きをされる場合は、お取引口座のある証券会社等へお問い合わせください。）

公告方法

当社ホームページ上に掲載
<http://www.tt-paper.co.jp/ir/denshi.html>
ただし、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載

株主優待品のご案内

当社特製カレンダーの送付について

このたび、平成25年9月30日現在の株主名簿で1,000株（1単元）以上を保有する株主様へ、日頃のご厚情への感謝のしるしとして、『特製カレンダー』をお送りさせていただきます。

このカレンダーには、山岳写真家として世界的に有名な白籟史朗氏が、南アルプスに広がる当社社有林を撮影した写真を用いており、また、当社製の高級印刷用紙およびファンシーペーパーをふんだんに使用しております。1年間を通じてご愛用いただければ幸いです。



単元未満株式買取りおよび買増し制度のご案内

単元未満株式（1~999株）につきましては、証券取引所での売買を行うことができませんが、当社では単元未満株式（1~999株）の買取りおよび買増し制度を実施しており、単元未満株式をご売却またはご購入することができます。

単元未満株式買取り制度

株主様がご所有する単元未満株式を株主様のご請求により、当社が買い取らせていただく制度です。

単元未満株式買増し制度

株主様がご所有する単元未満株式とあわせて1単元（1,000株）となるよう不足分の単元未満株式の売渡しを当社にご請求いただく制度です。

お手続きについて

買取り請求（ご売却）、買増し請求（ご購入）に関するご相談、お問い合わせは、お取引の証券会社または左記の当社株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部）までお申し出ください。



表紙写真：白籟史朗撮影
使用用紙：ミセスB-F
スーパーホワイト